



# さきもり

発行 深川消防団  
所在地 〒135-0042  
東京都江東区木場  
3丁目18番10号  
深川消防団本部  
TEL:03-3642-0119  
FAX:03-3641-4422

テーマ

「legacy 我が町は我が手で守る消防団！  
未来へと向かって」



江東区は深川消防団を応援しています！

- 特集 災害に強いまちづくり 江東区と深川消防団
- 合同点検・東京総合震災消防訓練
- 深川消防団広報誌「さきもり」ができるまで！

春の全国火災予防運動 3月1日(水)～3月7日(火)



## 山崎江東区長・山本議長・田口団長 特別対談

山崎江東区長に江東区と深川消防団への思いをお忙しい中お聞き致しました。その一端をご紹介します。

**岩淵** 本日はお忙しい中お時間を頂き有難うございます。今回、テーマにもあります「Legacy 我が町は我が手で守る消防団！未来へと向かって」と題しお話を伺い致します。

**岩淵** 江東区として平時に発生した災害などに対する防災への取り組みをお聞かせ下さい。

**区長** 災害対策としては、まず区民の皆様が日頃の備えをご自身でして頂かなければなりません。

自分の今いる場所で、災害が起きた場合どういうことが想定されるのか？安否確認は？避難所はどうするのか？と、家族で話合っていくことがまず「一番最初の備え」となります。そういったことを行ったらうえて、さらに江東区としましても区民の皆様の備蓄食料、水、避難所、また水害対策としてはハザードマップを配布し注意喚起を行う。さらには、防災ラジオの配布など色々な災害対策を行っています。まずは、ご自身の身を守ってもらうことがとても大事になります。

**岩淵** 有難うございます。まずは、自助が大切だという事がよくわかりました。次に、守られるべき人達（防災では要配慮者と言われる人たち）が、自ら助ける側へとなり防災リーダーをもっと増やす為にはどうしたらよいかお聞かせ下さい。

**区長** そうですね。特に若者、中学生以上の方はいざという時に頼りになつて頂けるのではと思っています。勿論まずは、自分の身を守る。次に、家族を守る。そして近所、地域へと範囲を広げ守って頂きたい。特に、配慮が必要な方へ手を差し伸べて頂きたい。守る人になって欲しいですね。

その、守る人になっていく為には、地域の協力、学校現場で日頃からの防災教育、町の中で行われている防災訓練に積極的に若い人に参加して頂いて手伝ってもらいたいという思いは常にあります。

**岩淵** 有難うございます。区長の若者に対する期待がよくわかりました。それでは、そういった若者に対する防災教育をしていくうえで、防災リーダーとしての消防団の役割も大きいかと思えますが、消防団にどんなことを期待していますか？また、どういった取り組みを行っていけばよいでしょうか？

山崎江東区長



区長 消防団の日頃の訓練強化、また地域に対する防災教育の啓蒙。防災意識をまずは、消防団自らが高めていく。消防団のパワーを地域に知ってもらう、認識してもらう為には、積極的に色々な事に参加し関わっていく中で、見てもらうこと、伝えていくことが一番だと思います。

岩淵 団長はいかがでしょうか？

団長 まずは、全団員が責任感をもってやるのが重要ですね。私が消防団に入った当時はすごく火災が多かったですね。訓練も、火災出場も本当に多かったです。今は、それほど火災も多くはないですが、過去の現場での経験から言わせて頂くと、火事を起こさない、火事を出さないこと、減災が大事になっていきますね。火災予防週間での

広報活動や警戒も重要になっていきます。特に災害の中でも、火災現場に消防団は出ていくことが多いので、消防署員の後方支援としての連携・訓練も大事になってきますね。

岩淵 有難うございます。防火・防災・減災の大切さ。消防団としての防災リーダーの役割の重要さがよく分かりました。

また、いつ起こるか分からない災害に対する備えとして、防災教育を地域に発信していく消防団の防災リーダーとしての役割の重要さも分かりました。次に、防災女性リーダーとして、また深川消防団女性団員であります山本議長に、女性消防団員の役割または期待していることなどをお願いいたします。

田口団長



議長 まずは、各分団が担当地域とのコミュニケーションをとり積極的に各行事や防災訓練などに参加していく。コロナ禍になってここ数年防災訓練を行っていくことが難しい状況が続いています。しかし、待っているだけでは何も変わらないですね。消防団自ら町会・自治会に声を掛けていく。行動していく。顔と顔の見える関係性を構築し強固にしていくことが大事ですね。特に、「テーマにある平時に災害

がおきた」想定でありますと、日中は女性の方が活動しやすいかと思えます。また、特に女性消防団員のきめ細かい声掛けは地域の中でも大事だと思っています。「Face to Face」の関係こそが大事であり、次への一歩だと思えます。女性団員の役割としてはその時代、時代に合った女性団員ならではのきめ細かい対策を発信していくことが大事になってきますね。頑張ってほしいです。

岩淵 女性団員ならではの働きです。有難うございます。頑張ります。

最後になりましたが、今回テーマにあります「Legacy 我が町は我が手で守る消防団！未来へと向かって」と平時に災害が起きた場合を想定して、山崎江東区長、山本議長、田口団長に色々な角度からお話して頂きました。最後に、次世代の防災リーダーへと

山本議長



日々訓練しています消防少年団へのエールを一言お願い致します。

区長 消防少年団に入ったことをきっかけに、成長され、いずれ消防団に入ってもらったり、消防職員になって頂いたりするとよいのですが、それだけでなく色々な場面で地域の防災リーダーとして頑張っていて頂けると嬉しいですね。宜しく申し上げます。

今回お話し頂きました以外にも、低地帯である江東区の水害対策、災害時のペットの問題、高齢者の火災に対する備えなどお話し頂きました。今後、進ったかたちでお伝えしていけたらと思います。

インタビュー 第9分団 岩淵初美

# 自分で守る

## 消防団点検

令和4年10月23日



部隊検閲



消防団現場本部



救護活動



消防活動訓練



第8分団の団員4名は第3分団とともに可搬ポンプ積載車を使用し災害・消火活動、一斉放水に参加しました。

前日の訓練では、3年ぶりの事ですので手順を確認しながら慎重に行いました。

また思いがけず待機時間に城東消防団長からお声がけいただき、分団で購入したジャンパーや収納袋の事などを話しました。同じ江東区の消防団とは言え、合同訓練の場がないとなかなかこういった交流の機会も実現しなかったと思うと、この訓練の違った良いところがあると思いました。

本番は連携のとれた素晴らしい展示ができたと思います。

第8分団

積載車を用いた消火活動訓練に、深川消防団第3分団消火班代表として参加しました。

消防団に入団したのが約17年前、若手だったこともあり消防操法大会の選手や消火活動訓練には毎年欠かさず選ばれ、実践には慣れているはずなのですが今回3年ぶりということでもかなり緊張してしまいました。

でも心地よい緊張感ではありましたので初心に戻って訓練することが出来ました。

第3分団

3年ぶりに江東区消防団点検が木場公園で実施されました。山崎江東区長はじめ来賓者、町会自治会、消防協働団体の方々が多数出席されました。東京消防庁総務部長が点検者を務め、部隊検閲が行なわれました。城東消防団による消防操練の後、深川第7分団が地域住民等と連携した救助・応急救護活動。深川第3・5・8分団、城東第1・4・5分団、両団による積載車消火活動、一斉放水が団本部指揮のもと行なわれました。コロナ禍にあつて、日頃の訓練成果を確認するとともに、地域住民の皆さまに消防団活動の一部をご覧頂きご理解とご協力を深めました。

熊谷編集委員

# 東京総合震災 消防訓練

令和4年11月26日

# 自分の町は



訓練会場に集結



分団本部運営



団本部運営



遠距離送水・長時間防御

令和4年11月26日東京消防庁管内において東京総合震災消防訓練が行われました。

この訓練は大規模な震災を想定して消防団の対応力の強化を図ることを目的としています。

深川消防団員は予定した時刻の発災後、家族確認等の所定の対応を図った後、自宅を出発し、分団受け持ち区域の情報収集及び被害状況を確認しながら、各分団施設または非常参集待機場所に参集しました。

団本部および分団本部では、各分団の団員参集状況の確認・報告と、MCA無線機そしてタブレット端末を活用した画像伝送による情報共有訓練を実施しました。

そして訓練実施者は、各分団施設に参集後、可搬ポンプ積載車で訓練会場に集結しました。訓練会場の豊洲5丁目1番の東電掘では第2・8・9・10分団が遠距離送水・長時間防御訓練を消防職員と連携して訓練を実施しました。また第1・4・7分団は訓練中の安全管理の任務を遂行しました。

訓練に先立ち内田有明分署長から、震災時は消火栓が使用出来ないこともある。だからポンプ連携による遠距離送水訓練を行います。震災時の現場は、平坦ではないし障害物もあります。ホースが破れるかも知れません、余震もあるかも知れませんが、そんなことをイメージしながら訓練にあたるようお話がありました。

送水訓練終了後、平本深川消防署長からは、今回の訓練で良かったこと、改善すべきことを振り返り、消防団で共有して欲しいとお話がありました。

山口編集委員

歳末警戒に出ました!

※日頃の訓練の様子を記録する為に、さきもり編集員を中心に訓練の写真を撮りにいたり、各分団員に原稿依頼をし、次回の編集会議までに持ち寄ります。



※活動中は制服で撮影もします!



こないだは、防災デリで訓練してきたよ!これはどうかしら?



※沢山ある記事内容から、選定し構成を考え、写真も選びます!

忙しいな(汗)頑張るぞ!

こんな企画はどうですかね?

OK!

編集会議以外にも打ち合わせがあるよ



## 第2回編集会議

※シグマ印刷さんへ原稿、写真のデータを全て送り、一度ゲラを作ってもらいます。細かい内容は、編集長または担当者が詳細を伝えます。

### 消防団協力事業所

弊社は、防火・防災に積極的に取り組んでいます。

<https://www.teikoku-soko.jp/> E-mail:info@teikoku-soko.co.jp  
PHONE.03-3642-0121 FAX.03-3641-1763

**TEISOH** 株式会社 帝国倉庫  
〒135-0024 東京都江東区清澄 1-5-1

### 消防団協力事業所

株式会社 **ムトウユニパック**



代表取締役 会長 武藤佳資

私たちは、本社ならびに各事業所を通じ、地域社会への貢献を目指しております。



本社 / 東京都江東区永代 1-7-12 TEL 03-3642-1141(代表)  
<https://www.mutoh-u.co.jp/>  
支店・出張所/東京中央・東京西・城南横浜・千葉・さいたま・栃木・前橋・新潟・大阪

# 深川消防団広報誌「さきもり」ができるまで

今回はその**秘密**に迫ります!



深川消防団広報誌「さきもり」がどうやってできているか知っていますか?



※各1~10分団に1名さきもり編集員がいます。  
普段は、消防団員として訓練もしています。



## 第1回編集会議

※新人編集員なので、今回は、私も一緒に調べてみます。

どんな記事にしようか? レイアウトはどうしようか?



最後の修正チェックが終わりました! 印刷をお願いします。



シグマ印刷の島村です。深川消防団のみなさんと広報誌を作っています。



YES!

※事務局にも確認してもらいます。



※記事の事実確認、文章に誤字脱字が無いチェック。言葉の言い回しなど、細かくゲラを見ながらみんなでチェックします!

## 出来上がり! 〇〇号

※完成したら、各分団が担当地域へ配布してもらいます。卒団されたOBや友の会の皆様にも楽しみにしてもらっています。

つづく!

下には、消防団協力事業所のスポンサー企業の広告が入ります。

赤ペンチェックは任せて!



OK!

## 第3回編集会議

消防団協力事業所

弊社の社員も消防団員として活動しています。

社員一人ひとりが、防火・防災の知識・技術の向上に取り組んでいます。

ご宿泊・ご婚礼・ご会合等、お気軽にお問い合わせください。

オークラ ホテルズ & リゾーツ  
ホテル イースト21東京

〒135-0016 東京都江東区東陽 6-3-3  
03-5683-5683 (代表)  
www.hotel-east21.co.jp

消防団協力事業所

「大震災はいつ起こるか分からない」

丸八倉庫株式会社

江東区富岡 2-1-9  
HF門前仲町ビルディング4階

令和4年 東京都消防褒賞受賞者



令和4年11月4日
東京都消防褒賞 受賞
第1分団 分団長 志村 保司
第8分団 副分団長 庄井 勤

東京消防出初式受賞記念



第10分団 分団長 田島 ヒロ子
部長 重盛 孝之
班長 山本 高之

令和4年 団員の受賞者紹介

- List of award recipients by division: 消防総監表彰(功績表彰), 消防総監表彰(優良表彰), 江東区長表彰(勤続35年), etc.

深川消防署長表彰(成績優良分団)

第3分団
第7分団
第9分団
深川消防署長表彰(入団促進功労分団)
第7分団

少年団長挨拶



深川消防少年団は、昭和53年9月17日に「七つのちかい」のもと、団体活動を通じて防火防災に関する知識や技術の習得、そして、地域との関わりの中で健全な人間形成や地域社会への貢献を行うことを目的に発団しました。
発団10周年時には、鼓笛の演奏や練習を通じて、防火防災に係る広報や仲間を思いやる豊かな心を持った青少年育成のため、鼓笛隊を結成しました。
ここ数年の新型コロナウイルス感染拡大の影響で満足に活動ができない状況が続きましたが、令和4年度に入り、感染防止対策に配慮しながら、少しずつ練習を再開し、3年ぶりにパレードへの参加が実現しました。VR防災体験車を活用した出向き型防災訓練では、消防団員や災害時支援ボランティアとともに、来場者に対する指導や少年団員募集活動も行いました。
今後も、将来の地域防災の担い手として活躍できる少年団員を育むため、活動してまいります。
(深川消防少年団 吉野団長)

さきもり編集委員

Table listing editorial committee members: 分団名, 職務, 階級, 氏名. Includes members like 田口 賢治, 中澤 聡, 菊地 常美, etc.

編集後記

新年を迎え皆様のご多幸をお祈り申し上げます。2023年は卵年、飛躍や向上で私達の生活が大きく向上する年になって欲しいものです。消防団活動もコロナ禍において自粛していましたが段々と緩和してきました。地域防災等に備えて団員の活動する姿が見えてきました。大変嬉しく思います。今年一年、災害の起こらない年で過ごせる事を願います。
(編集委員長補佐 団本部 菊地 常美)